

乳幼児子育て電話相談

○相談の内容

- ・しつけや習慣
- ・遊びや友達
- ・身体や食事
- ・気になる癖
- その他

困った、どうしよう？
一人で悩まずに、まず相談を

○相談対象

- ・乳幼児期の子どもをもつ親等

○開設日

- ・年末年始を除く毎週月曜日～金曜日 午前10時～午後3時
はなし みみにいい

○電話番号

048-874-3321



◇幼児期家庭教育に関するテレフォンサービス「ハロー三ちゃん」

- 電話番号 048-832-0043

「乳幼児子育て電話相談Q & A」

相談事例を載せてみました。




- 1 我が子は、まだ絵もなぐり描きですし、丸などは描けません。 (3歳男児) P. 2
- 2 初めての人やお友達と口をききません。 (4歳男児) P. 3
- 3 「〇〇しなさい」と言うと「お母さんもしなさい」などと口答えします。(4歳男児) P. 4
- 4 「仲間はずれ」ではないか、と心配しています。 (6歳女児) P. 5
- 5 次々取り出すが、片づけない。 (3歳男児) P. 6
- 6 子育てサークルに行ったが、親から離れられない。 (2歳男児) P. 6
- 7 子守を頼まれるのだが。 (2歳女児) P. 7

「乳幼児子育て相談Q&A」

1 我が子は、まだ絵もなぐり描きですし、丸などは描けません。 (3歳男児)

Q 日中、母子二人で家に居るせいか、他の子に比べ、いろいろな面で遅れているような気がします。そこで、最近屋外に出る機会をつくろうと児童館に週一度行くようにしました。お絵かきもなぐり描きです。人の顔は描けません。ところが、先日、イモ版に色をつけ、大きな紙にペタペタ押して遊んでいるのを見て、とても感激しました。家に帰ってからも、そのイモ版で遊んでいました。私はやや無口で控え目な性格で「よくできたね」と言うくらいで声かけも下手なのです。家でのかかわり方を教えてください。

A 子どもの成長には順序があります。幼児期前半は、特に手先が不器用なので、お子さんの成長に合わせて取り組んでみましょう。

- ・ 3歳児 腕がまだよく動きませんので、手先だけで動かす  なぐり描きです。
- ・ 3～4歳児 腕がよく動くようになるので、 が描けるようになり、 も描けます。頭足人が描けます。
- ・ 4～5歳児 指先も器用になり、人間が描けるようになります。
- ・ 5歳児 横向きの顔にも挑戦します。

また、小さい時ほどやわらかい素材（絵の具、クレパス）などが描くのによく、思い切ったのびのびと描きます。硬い色鉛筆やクレヨンは少し無理があります。

そのため、美しい色のでる絵の具や、やわらかめのクレパスを用意し、大きな紙を与えてみましょう。喜んで描きますよ。決して先走ってやらせないでください。

ご主人の休みの日、二人でブロックで車をつくったり、親子で楽しそうに話したり、壊してはつくっている様子、とても微笑ましいですね。その「言葉のかけ方」のうまさなど、お母さんも見習いましょう。ゆっくりとした言葉で少しオーバー気味に表現してみましょう。お子さんの目線にたって心から楽しむことです。その姿が子どもに映り、子どもも楽しくなります。

2 初めての人やお友達と口をききません。

(4歳男児)

Q 祖父母と同居の5人家族です。家では、よくおしゃべりをしますし、歌も祖父母と一緒に歌い、また上手なのです。ピアノもおけいこに通いよく弾けます。最近はサッカーも習い始め、とても喜んで通っています。ところが、初めての人やお友達とは口をききませんし、幼稚園の先生とも、言われれば答えますが自分から話すことはありません。私はとても心配し、「自分から話をしなさい」と言ったり、「皆と外で遊びなさい」とつい叱ってしまいます。こんな時、親はどのように接したらよいのでしょうか。

A お子さんの場合、家族（大人4人）の手が多いだけに、甘やかされて育ったのではないのでしょうか。

家で話をする場合、4歳では、一方的で少し意味がわからない時がありますし、何かと聞かれてもまとまりのない返事をすることもあります。これは当たり前です。まだ4歳ですから。わからないような話をしたら、根気よく聞いてあげるようにしなければなりません。ところが、まわりの大人たちが言葉の先取りをしてしまったり、注意したりしていると、外に出た時に自分の言葉に自信がもてなくなってしまうのです。

また、神経質で頭もよいので周囲の状況判断もできますので、余計話をしたがるようになるのです。ましてや、はがゆくなり焦って叱咤激励しますと、ますますお子さんに圧力がかかるのです。

まわりの大人は、よい聞き手となり楽しそうにしていれば、聞かれなくても話をしたくなるものです。子どもの心をよく知って、自信が持てるようにかかわってください。親の方は、「何かひとつくらい言えばよいのに」と思うかもしれませんが、4歳児にはそれは難しいのです。無理に話をさせると話をするのが億劫になります。待つて見守ってやりましょう。

手始めに家で遊ぶ時は、近所の子を呼んだりして、二人くらいから遊ばせてみてはいかがですか。大人の中で育った子は遊び方が下手で、自分が傷ついたり人を傷つけることもあります。今しばらく、親がついて遊ばせて様子を見ましょう。次第にお友達もできるので、そう心配はありません。

「乳幼児子育て相談Q&A」

3 「〇〇しなさい」と言うと「お母さんもしなさい」などと口答えします。(4歳男児)

Q 下に妹が生まれてから、つい、「早くご飯を食べなさい」とか「お片づけをしなさい」などと言ってしまいます。すると、「お母さんもしなさい」とか「イヤです」など口答えをするようになりました。その上、お片づけなども思うようにならないとすぐ怒り、優しく教えても「もういい！」と一言。妹にもあたったりします。口答えを止めさせたいのです。どのようにしたらよいのでしょうか。

A 命令的な言い方は止めて、自分からやる気を起こすような言葉かけをすることで。

なぜなら、これを言い続けると、お母さんが言えば言うほど、言わなければしない子になってしまうからです。「〇〇しましょう」と言うのがよいでしょう。その時は、ただ言うのではなく、お母さんも自分の仕事をしていてください。そうすれば、「お母さんもしているから私もしよう」と自分からやる気を起こすものです。

下に妹が生まれ少し不安で淋しいのですから、ただ、「〇〇しなさい」と突き放すような命令的な言葉ではなく、お母さんも一緒にするといいですね。この年齢では、大人から先に始め、その後手伝うというやり方にしないとどんなことも身に付きません。

例えば、お片づけにしても「ちょっと難しいけれどできるかな？」というのもよいでしょう。つまり、その子の脳に働きかけて自分で考えてできるような言葉かけが大切なのです。

その上、あらかじめ、おもちゃ箱などに色をぬり、色分けで箱に入れるものを決めるとか、お人形などのマークをつけ、他のものと分けできるよう、しまい方など工夫してみると面白がってやるでしょう。

「お片づけは楽しいもの」これを教えるには、お母さん自身、後片づけを楽しそうにやることです。

「乳幼児子育て相談Q&A」

4 「仲間はずれ」ではないか、と心配しています。

(6歳女兒)

Q 6歳女兒の母親です。「園では遊ばないけれど、おうちでは遊ぼうね」という近所の仲良しさんとの会話に疑問を持ち確かめたところ、幼稚園年長21名のクラス(内、女兒11名)の中で本児は仲間はずれになっていました。遠足を欠席した本児に対して「行かない子は遊ばない」という女兒がいて、他の子どももこれに同調するようになっていたのです。狭い地域、この関係が学校生活にまでも続くのかと心配しています。

A 時を置かず、園の先生に相談され、園もまた直ちに指導を試みて、一時的には改善したものの、園内の仲間はずれは続いているとのことですね。

これに類似した問題は多くの集団で見受けられます。解決の過程では日常活動を見直して、問題点を洗い出し、関係者の英知を傾けた対応がなされています。

幼稚園には、幼児期にふさわしい生活の展開が期待されます。先生との信頼関係に支えられた生活であり、友だちと十分に関わって展開する生活です。また幼児が安心して過ごせる場であることやこれらを支える家庭との連携等が求められます。

6歳女兒の遭遇した問題は、この問題に関わるそれぞれの立場の幼児に、幼稚園は十分にその「期待や求め」に応えているかと問いかけているようです。

問題は、個人対集団の関係で発生していますが、特定の個人の問題としてではなく、幼児の望ましい発達を促すための園と家庭を含む全体の課題としての対応が求められます。さらに、問題の本質(「人の気持ちを弄ぶ態度を卑劣なもの」とする感覚の欠如)からみて、園と家庭を含む全体のモラルに関わる課題としての対応が求められます。

このような対応の具体化には多くの労力を要し、困難も伴います。これらを克服して取り組んだ集団にはその資質(モラル)の一段の向上が見込まれます。高いモラルを支えとする活動の理念を幼児に直接言葉で伝えることは適いませんが、家族や指導者には毅然とした態度で日常生活を通して示し続けることが求められます。対人行動に関わる今回の課題は、園と家庭が相互の信頼関係をかけて取り組む絶好のチャンス。これを生かしていただきたいものです。

幼児期の生活は、母親の感情や生活態度に影響されることが多いといわれています。県では、母親相互の情報交換や学習会をお手伝いする「家庭教育支援ボランティア隊」を開設していますので御活用ください。

「乳幼児子育て相談Q&A」

5 次々取り出すが、片づけない。

(3歳男児)

Q 3歳男児の母親です。家の中のものを片づけると待っていたとばかりのように、次々と取り出して散らかします。このことに耐えられず、阻止し続けています。

A 頼むとボールペンなどを持ってくるお手伝いができるとのこと、お母さんが何をどこにしまっているのかをわかっているようですね。お母さんの整理整頓状況にふれることを楽しんでいるのでしょうか。本児の身の回り用品の在処を定めておくことで、必要に応じて取りにいけるようにもなるでしょう。

取り出してくるお手伝い行動を逆転させて、片づけてくるお手伝いを教え、遊びとして楽しませてあげましょう。阻止されて、十分満足してないことで探索行動の欲求が一層強くなっているようです。覚悟を決めてじっくり関わってあげたいものです。

6 子育てサークルに行ったが、親から離れられない。

(2歳男児)

Q 2歳1か月男児の母親です。核家族です。子育てサークルに参加していますが、親から離れません。おもちゃの取り合いでは相手のなすがままです。「あんたの子が弱いよ」といった感じで相手の子の母親は知らん顔。イライラしてきます。

A 家庭を離れて見慣れない場面や聞き慣れない話声に出会い、用心深く振る舞う賢い2歳1か月児です。お母さんを安全基地として周辺を観察しているようです。その場のおもちゃに関心を示すのであれば、まずはお母さんと一緒にそれを用いて遊ぶのがいいでしょう。守ってあげることもできます。本児の様子を注意深く見ると、様々な発見がありイライラは解消します。

子育てサークルに参加したからといって、すぐさまその場になじんだり友だちと遊び出すというものではありません。お母さんが関わらせたいようにはいかないでしょうが、安全基地であるお母さんから離れずに本児としての集団体験を積み上げているのです。

まずは、安全基地に安心してとどまることを許して見守りましょう。

「乳幼児子育て相談Q&A」

7 子守を頼まれるのだが。

(2歳女兒)

Q 2歳女兒の祖母。本兒の父親は私の一人っ子、子守を頼まれますが、返事を少し躊躇すると「みるの、みないの、どっち」等と乱暴な物言いをします。こんなときどのように対応したものでしょうか。

A いつも頼られ、またそれに元気よく応えておいでのようですね。本兒も手を振ってあいさつするとのこと。かわいいでしょうね。ところで、パパの方は未だにお母さんに強く依存しているように見受けられます。母親の人格をないがしろにした発言には少し反省を求めたい気持ちになりました。

本兒のご両親とお茶等飲む機会がありましたら、しみり伝えたいものです。「子どもたちに頼りにされることはうれしいし、誇りでもある。そして、労いの言葉を聞くことはさらにうれしい」と。

